

学習・教育到達目標

建築学科および建築学専攻では、持続的な人間生活と社会活動を支えるために、「信頼性の高い技術と優れたデザイン性を兼ね備え、かつ自然環境と調和する、安全、安心、快適な建築および諸環境の構築」を目指します。

学 部

これを実現するために、**建築学科**では、次のような学習・教育到達目標を掲げ、体系的な教育と研究の機会を提供し、人材の育成をはかります。

(A) 社会性と幅広い視野

地域および地球的視点に立ち、人類の文化、社会や自然の多様性に対する視野を広げる。また、建築からはじまり、まちづくりや地球環境に至る幅広い視野の重要性を知る。

(B) 倫理感と構想力

建築設計者および建築技術者としての責任と役割を知り、工学の基礎となる数学や自然科学に基づいた明確な倫理感と豊かな構想力の基礎を身につける。

(C) 技術力とデザイン力

工学基礎・専門知識を活用し、与えられた制約条件のもとで、問題を設定して解決するための、技術力とデザイン力の基礎を身につける。

(D) 建築の専門知識(総合力・専門力)

建築に関する総合的な知識を身につけ、基礎的な技術・技法を理解する。

(E) 建築の専門知識を応用する能力(創造力)

建築技術に関する専門知識と、それを自ら応用する力を身につける。

(F) コミュニケーション能力とコーディネート能力 (対話力と調整力)

多くの人々との関わりを持ちながら建築・都市空間を創り上げていくためのコミュニケーション能力とコーディネート能力の基礎を身につける。

(G) 国際力

グローバルな視点の重要性を知り、国際的な視野を身につける。

大学院 (博士前期課程)

これを実現するために、**建築学専攻**では、次のような学習・教育到達目標を掲げ、体系的な教育と研究の機会を提供し、人材の育成をはかります。

(H) 社会性と幅広い視野

地域および地球的視点に立ち、人類の文化、社会や自然の多様性、ならびに建築からはじまり、まちづくりや地球環境に至る幅広い視野をもち、これらを専門分野において活かす能力を身につける。

(I) 倫理感と構想力

建築設計者および建築技術者としての責任と役割を理解し、工学の基礎となる数学や自然科学に基づいた明確な倫理感と豊かな構想力をもち、これらを自ら活用する能力を研鑽する。

(J) 技術力とデザイン力

工学基礎・専門知識を活用し、与えられた条件のもとで、自身で問題を設定して解決するための、高度な技術力とデザイン力をもち、それを実践する能力を研鑽する。

(K) 建築の専門知識(総合力・専門力)

建築に関する、専門的な知識と技術・技法を兼ね備え、かつ創造的な提案をするために自ら活用する能力を研鑽する。

(L) 建築の専門知識を応用する能力(創造力)

特定領域の高度な専門知識を適用し、未知の問題へ応用することができる実践的な能力を身につける。

(M) コミュニケーション能力とコーディネート能力 (対話力と調整力)

多くの人々との関わりを持ちながら建築・都市空間を創り上げていくための高度で専門的なコミュニケーション能力とコーディネート能力を研鑽する。

(N) 国際力

グローバルな視点とローカルな視点をあわせ持ち、国際的に通用する実践的な能力を身につける。